

## トリニダード・トバゴ月間情勢報告 (2024年1月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1月のトリニダード・トバゴの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

### 1 概況

- 1日に死去したパンデー前首相の告別式が実施された。
- 政府は、貧困地域対象の犯罪抑止対策に1億TTドル（1,465万米ドル）拠出すると発表。
- 中国の「一帯一路」により建設されたフェニックス・パーク工業団地の完成式が行われ、ローリー首相とファン駐TT中国大使が出席。
- TTのデジタル化を促進するため、ラテンアメリカ開発銀行（CAF）は同国におけるデジタル変革プログラムに対し300万ユーロを承認。
- 国営ガス圧縮天然ガス社（NGC CNG）は、会社名をNGCグリーン社に改名。さらに同社はTT初の大規模太陽光発電所建設プロジェクト「プロジェクト・ララ」に30%出資することを発表。
- ロカンNGC社長は、2024年8月に契約を終了し、8年間務めた社長の座を降りる旨を発表。
- Lightsource bpが開発・建設を進めていたOrange Groveの太陽光発電事業は、政府が同土地を別の目的に使用する旨を決定したことを受け、一時中断中。
- TT、ガイアナ、バルバドス政府は共同で旅客・貨物地域フェリーシステムを導入する予定であると発表。

### 2 内政

- （5日、9日報道）1日に死去したパンデー前首相の告別式が実施された。
- （16日、17日報道）国内の治安悪化に鑑み、パサード＝ビセッサ野党党首は非常事態宣言を発出するべきであると発言。
- （19日報道）政府は、貧困地域対象の犯罪抑止対策に1億TTドル（1,465万米ドル）拠出すると発表。
- （28日報道）3か月間にわたり実施された「カリブ諸国における自動車交通渋滞の経済コストの評価：TTの事例研究」の結果、TT国民は毎日平均110分間を交通渋滞に費やしていることが判明。

### 3 経済

- （10日報道）中国の「一帯一路」により建設されたフェニックス・パーク工業団地の完成式が行われ、ローリー首相とファン駐TT中国大使が出席。
- （15日報道）TTのデジタル化を促進するため、ラテンアメリカ開発銀行（CAF）は同国におけるデジタル変革プログラムに対し300万ユーロを承認。同プログラムは欧州連合（EU）と連携し実施される予定。
- （18日報道）国営ガス圧縮天然ガス社（NGC CNG）は、会社名をNGCグリーン社に改名。同社は今後グリーンエネルギーやサステナビリティに焦点を当てたプロジェクトを中心に展開予定。さらに同社はTT初の大規模太陽光発電所建設プロジェクト「プロジェクト・ララ」に30%出資することを発表。
- （19日報道）ロカンNGC社長は、2024年8月に契約を終了し、8年間務めた社長の座を降りる旨を発表。
- （28日報道）Lightsource bp（bpとLightsource bpマネジメント社の合併会社でありヨーロッパ最大の太陽光発電開発会社）が開発・建設を進めていたOrange Groveの太陽光発電事業は、政府が同土地を別の目的に使用する旨を決定したことを受け、一時中断中。

#### 4 外交

- （6日報道）TT、ガイアナ、バルバドス政府は共同で旅客・貨物地域フェリーシステムを導入する予定であると発表。
- （24日外務省発表）ブラウン外務・カリコム担当大臣は、ファン駐TT中国大使と会談し、2024年6月の国交樹立50周年を記念し、2024年に開催予定のイベント等に関して意見交換を実施。さらにブラウン大臣は「一つの中国」政策に対するTTのコミットメントを改めて強調した。
- （30日報道）ローリー首相は、ブリンケン米国务長官と国家安全保障及び銃器密売に関する協議を実施。同国务長官は、米国がTTと提携し、暴力犯罪や銃器密売対策を最優先事項として取り組むことを確約した。